



ADRC Highlights

Vol.32

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

September 17, 2001

▶ インターネットベースの災害情報に関する国際シンポジウム(ISIDI)開催



2001年8月27日、アジア防災センターは、科学技術振興事業団との共催で標記シンポジウムを開催しました。米国国立地質調査所、国際連合人道問題調整事務所、世界保健機構、インドネシアバンドン工科大学、ロシア科学アカデミー、宇宙開発事業団、国際

協力事業団などからの参加者を得て、災害危機管理のためにインターネットベース・マッピングやGISを普及させることについて積極的な意見交換が行われました。

このシンポジウムでは、インターネットを用いたGIS(地理情報システム)や防災情報が災害予防および災害対応に有効であることが指摘されました。近年、新たなインターネットGISツールとしてADRCが開発したVENTENがその例として挙げられました。基礎技術を活用したリモートセンシングや、情報技術の最新技術がエンドユーザーに大いにあって有益なものとなるだろうとの展望が示されました。

インターネットをベースにした情報は、災害対応のみならず普段からの備えや脆弱度の評価にも用いることができます。これらの点をさらに推進するためには、高速度衛星やグローバルマッピングといった技術をベースとして利用しなければなりません。この目標を達成するには、国際機関、政府機関及び研究機関の協力が求められます。また、民間セクターの防災のための積極的な参画も必要です。この他、我々はエンドユーザーのニーズ把握とエンドユーザーとの持続的な情報交換を常に念頭におかなければならないということも再確認しました。

なお、このシンポジウムに関して下記の論文集を発行しました。ご希望の方は、sec@adrc.or.jpまでご連絡ください。

「Information Technology for Disaster Management」
ADRC International Paper No.1, 2001
(主任研究員 バンバン・ルディアント)

▶ ADRC スタッフ紹介 第5回

□ 主任研究員 バンバン・ルディアント

アジア防災センター主任研究員のバンバン・ルディアントです。1999年12月から当センターの活動に参加しましたが、お蔭様で2年近くが経ちました。

小川雄二郎所長の「成果がなければ真の研究者ではない」という言葉を常に肝に命じ、研鑽を積んでまいりました。「インドネシア人だからアジアに貢献する」のではなく、「1人の専門家としてアジアの国々をはじめ世界の防災に注力しなければ」、という気持ちのほうが強いです。この「防災」の意味は「自然環境と開発」という分野に、常に広くとらえています。以前、国際連合地域開発センター(UNCRD)と日本国際協力銀行(JBIC)で勤務した経験から、防災に対する視野が広がりました。



防災への情報技術からの貢献に関心をもち、当センターにおいて、アジア地域防災情報ネットワーク・システムの開発研究(VENTEN)というプロジェクトを担当しました。インターネットを利用した防災情報システムによる、普遍的な情報発信が可能になった事は大きな成果だと信じています。

また、防災と開発の関係については、住民参加型洪水災害軽減プロジェクトを実施しました。このプロジェクトはインドネシアのバンドン市において実施しましたが、住民参加型の防災活動へ広く用いられることを狙いとし、その成果を近々公表する予定です。

さらに、防災は人のネットワークにはじまるという意見もあり、国際会議の実施にも積極的に取り組みました。このようにアジア防災センターでは住民参加型から高度な技術利用まで、多彩な研究をさせて頂いたことに、感謝しています。2001年9月末で任期を終え、アジア防災センターを離れますが、また別の立場から人類に貢献したいと思っています。有難うございました。

▶ トーマス・レイエス フィリピン国防大臣来所

8月28日、トーマス・レイエスフィリピン国防大臣兼国会災害調整会議議長とその一行5名がアジア防災センターを訪れました。一行は、4日間の日程で、防衛庁、内閣府、アジア防災センターおよび兵庫県を訪問し、日本の災害対策や防災体制について、視察されました。



当センターでは機能や活動について熱心に説明を聞かれ、特に、トレーニングプログラムとインターネットGISシステム(VENTEN)に興味を示されました。今後のフィリピンでの防災教育にADRCの技術面での協力を依頼して帰途に着かれました。

▶ 大学生インターンの受け入れ

アジア防災センターでは、今年からの試みとして、兵庫大学連携事業推進機構と協力して、8月20日～31日までの間、3名のインターンを受け入れました。国際機関での就労体験を通じ、学生達が将来の人生を考える良い機会になったのではと思います。来年も引き続き実施していく予定です。興味のある方は、「ひょうご大学連携事業推進機構:tel:078-327-4380, email kikou@hvogo-al.gr.jp」までお問い合わせください。

ご意見・ご要望等があれば
右記までご連絡ください。

編集・発行: Asian Disaster Reduction Center(アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 IHDビル3F

E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(230)0346 FAX: 078(230)0347

誌代・送料: 無料 / 毎月2回発行(予定)